学校番号	３０２

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解　歴史総合」（帝国書院）						
副教材等	「新版　ダイアローグ歴史総合」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史を学ぶということは、過去を知るということである。しかし、それはただ単に知るだけでは意味がない。当時の人がなぜそのように行動したのか、なぜそのような組織や制度をつくったのか、歴史的な背景・関連を知ることが大切である。現代の価値観をもって過去のできごとを評価するのではなく、当時の合理性を把握するのである。そうした見方を持つことは、私たちが「今」を客観的に見ることにつながる。歴史学習において、「疑問の心」や「好奇心」を持つことは非常に大切である。疑問や好奇心を持ったなら、関連する本を読んだり、博物館や史跡の見学をしたりしてほしい。

日々の授業においても疑問の心や好奇心を忘れずにいてほしい。授業中にプリントを完成させるだけでは、ほんとうの学びにはつながらない。まず、しっかりと先生の話を聞く。先生の話を聞いて、大切と感じたり、疑問に思ったことは、アンダーラインを引いたり、欄外に書き留めておこう。疑問に思ったことは質問しよう。毎日の学習事項を時代の流れの中に位置づけることが大切なので、折にふれ、教科書の関連ページを読み直しストーリーとして把握しよう。ただ語句を覚えるだけでは苦手意識が芽生えてしまうかもしれない。ストーリーとして理解することで、また疑問の心や好奇心がわきおこり、歴史学習のモチベーションが高まるであろう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
近現代史を中心とする世界・日本の歴史について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
諸資料に基づき、地理的条件や日本の立ち位置、現代の諸課題を歴史的観点から考察する。
【学びに向かう力、人間性等】
歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うように努める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・近現代史を中心とする世界・日本の歴史についての基本的な知識を身に付けている。 ・諸資料に基づき、地理的条件や日本の立ち位置、現代の諸課題を歴史的観点から考察している。 ・諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表にまとめたりできる。	・歴史的事象に至るまでの経緯を、様々な背景を含めた上で思考することができる。 ・歴史の違う可能性を考察し、表現することができる。 ・史料から、当時の政治や社会情勢、生活のようすなどあらゆる情報を読みとり、表現することができる。	・近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を「なぜ、どのように」の観点から高め、歴史上の諸課題について問題意識を持ち意欲的に追究している。 ・歴史上の諸課題について追究してきたことを通して、国際社会の一員また日本国民の一員として現代の諸課題に主体的に関わろうとする態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	近代化への胎動	1.江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2.江戸時代の生産・流通と諸改革 3．幕政の改革と東アジア世界	a: 17 世紀を含めた 18 世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通，江戸幕府の４つの口や周辺地域との貿易などを基に，18 世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解している。 b: 17 世紀から始まり 18 世紀から 19 世紀にかけての日本が４つの口を通して周辺地域との関係に着目して，18 世紀とその前後の日本における経済活動の特徴，清などのアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 17 世紀から始まり 18 世紀から 19 世紀にかけての日本が４つの口を通して周辺地域との関係に着目して，主題を設定し，周辺地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりしようとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・レポート	・授業プリント ・ワークシート

	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	4　イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5　フランス革命とウィーン体制 6　アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7　オスマン帝国の衰退とロシア 8　アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9　江戸幕府の滅亡	a: 18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，オスマン帝国における生産と流通，アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に，18 世紀とその前後の世界の政治と社会を理解している。 b: 18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，オスマン帝国でのできごとや影響などに着目して，主題を設定し，世界各地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，東アジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 18 世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとととともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・レポート	・授業プリント ・ワークシート

	欧米諸国と日本の国民国家形成	10 イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 11 明治政府の諸改革 12 日本のアジア外交と国境問題 13 自由民権運動と大日本帝国憲法	a: 19 世紀後半のヨーロッパや日本における政治，ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に，19 世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 b: 19 世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して，主題を設定し，ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，19 世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴，ヨーロッパ各地域間の関係，日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 19 世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・レポート	・授業プリント ・ワークシート
2	帝国主義の時代	14 帝国主義の時代へ 15 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16 日清戦争後の東アジア 17 日露戦争と東アジアの変動 18 日本の産業革命	a: 19 世紀から 20 世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，19 世紀から 20 世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。 b: 19 世紀から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して，主題を設定し，ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，19 世紀から 20 世紀初頭の日本における政治の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・レポート	・授業プリント ・ワークシート

	第一次世界大戦と大衆社会	19　第一次世界大戦 20　ロシア革命とソ連の成立 21　米騒動とデモクラシー 22　ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23　アジアの民族運動 24　第一次世界大戦後の欧米諸国 25　ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a：第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b：第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：20 世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・レポート	・授業プリント ・ワークシート

	経済危機と第二次世界大戦	26　世界恐慌と各国の対応 27　ファシズムの時代 28　満洲事変と軍部の台頭 29　日中戦争と戦時体制 30　第二次世界大戦の勃発 31　第二次世界大戦の終結 32　国際連合の成立と冷戦 33　日本占領と日本国憲法 34　朝鮮戦争と日本	a：世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b：経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・レポート	・授業プリント ・ワークシート

3	冷戦と脱植民地化	35　植民地の独立 36　米ソ両陣営の動揺 37　日本の国際社会復帰と高度経済成長	a：脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 b：地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：1950 年代の冷戦期から 1970 年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・レポート	・授業プリント ・ワークシート

	多極化する世界	38　石油危機と世界経済 39　緊張緩和から冷戦の終息へ 40　日本の経済大国化	a: 石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 b: アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 1970 年代に入り石油危機などが起きたころから 21 世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・レポート	・授業プリント ・ワークシート
	グローバル化と現代世界	41　地域紛争と対立 42　国際秩序の変容	a: 歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 b: 事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 21 世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚などを深める。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業プリント ・レポート	・授業プリント ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度